

# 平成30年度博物館実習生製作企画展示

平成30年8月11日（土）

## 【1班】

1 タイトル『It' s a small world』-Possibility of *Cyanobacteria*-

### 2 趣旨

微生物は土、池、水たまりなど、どんな場所にも存在する身近な生物である。その種類は多く、色や形、生活様式など様々である。また、微生物は生態系において大きな役割を担っている。しかし、微生物は目に見えないことが多いために、身近に感じる人は少ない。本企画展示では、微生物を紹介し、それらの中でも地球最初の酸素発生型光合成細菌であるシアノバクテリアを取り上げる。さらにシアノバクテリアが大きな可能性をもっていることを伝える。

## 【2班】

1 タイトル「何でアピール？プロポーズ大作戦！～プロポーズから見る進化～」

### 2 趣旨

本企画展示では、生物の求愛行動に着目し、求愛行動は生物が生息している環境やからだの特徴と密接な関係があることを紹介する。特に、展示では身近な鳥類を対象とすること、普段は気付くことのない意外な鳥類の生態を知っていただく機会を設け、さらに鳥類の中でも生息環境やからだの特徴によって、求愛行動に多様さが表れることを知っていただく。加えて、求愛行動から生物を観察するという新しい視点も提供する。

## 【3班】

1 タイトル「今昔タヌキ物語」

### 2 趣旨

上毛かるたでお馴染みの分福茶釜。群馬県民のみならず日本人に馴染みの深い動物であるタヌキは、古くから人里の近くで身近に生活してきた生き物である。しかしながら、私たちはタヌキの生き様についてよく理解していない。本企画展示ではタヌキの生態と社会性・生命力などの魅力を紹介した上で、現在私たちとタヌキが同一生活圏内で生活していることを示す。まとめとして、タヌキは今も昔も私たちの「ご近所さん」であり、相変わらず身近な動物であることを提示する。

## 博物館実習企画展示と展示解説の様子



1班 企画展示



2班 企画展示



3班 企画展示



企画展示発表会、来館者展示解説の様子